

# シャクチリソバ

【 *Fagopyrum dibotrys* 】

科名 タデ科

属名 ソバ属

## 薬効・用途

根茎（赤地利 シャクチリ）を解熱、解毒薬とする。全草は、ルチンを多く含み、高血圧症、脳溢血、肝出血、網膜出血などの予防や治療に用いられる。種子はえぐ味が強く、食用には適さないが、若い葉は野菜としても食べられる。



・花期：7～10月

## 備考

多年草。カシミール地方原産。薬用植物として導入されたが、現在では道端や草原などに野生化している。和名は、生薬名の漢名「赤地利」を日本語読みし、花が蕎麦に似ることによる。植物学者の牧野富太郎博士が命名した。両性花。